

さえずり



会長 小池 純夫
(南魚沼市立塩沢小 教頭)

表現する力とリコーダー

会長 小池 純夫



人は、自分の思いや考えを「言葉」で伝えます。しかし、全く同じ言葉でも、声の大きさや言い方によってずいぶん違った印象を与えます。例えば、「ありがとう。」という言葉も、丁寧に心を込めて言うのか、ぶっきらぼうに投げやりに言うのか…。「ありがとう。」という思いが心の中にあっても、それが、うまく言葉で伝わらないこともあるのです。

今、学校では、自分の気持ちや考えを言葉でうまく表現できない子どもが増えていっているように感じられます。気持ちや考えをうまく表現できないことが、様々な不適応行動につながっている場合もあります。自分の心の中にあるものをしっかり伝えることができる、表現することができることは、社会的な生活を営む上で大変重要なことだと考えます。

リコーダーで表現する場合を考えてみるとどうでしょうか？リコーダーは息を吹きこめば、音は簡単に出来ます。いくつか指を覚えれば、すぐメロディーを演奏することができ、それなりに楽しむことができます。しかし、それで終わりと思わず、「言葉」と同じように、自分の心の中にあるものをどう表現し、どう伝えていくかが重要なのではないのでしょうか。また、アンサンブルの中では、相手の音を聴き、相手の思いを受け止めて表現していくことも重要です。

音楽の授業や部活動でも、楽譜通り、何となく表現することから一歩踏み出していきたいものです。子どもは誰でも、本当は、上手に演奏したいと思っています。こんなふうに演奏したいという思いも持っています。それを引き出し、意欲を高め、演奏へつなげていくことが大切です。もちろん、表現するための前提となる基本的な知識や技能は必要です。楽しさ、喜びなど、プラスの感情があふれる中で、それを身に付けていってほしいものです。

子どもたちが、音楽の美しさや楽しさの本質を感じ取り、進んで、生き生きと自分の心の中を表現できるなら、豊かな心が育まれ、社会の中でよりよく生きようとする力も身に付けていくことでしょう。音楽は、学ぶことや生きることの土台を造る大切な教科だと思います。日々の授業や部活動の中で「言葉」で表現する力も、「リコーダー」で表現する力も高めていきましょう。音楽室から流れてくるリコーダーの音色やハーモニーが、子どもたちのよりよい未来につながっていくことを信じています。



平成27年度 新潟県リコーダー教育研究会 事業計画

- 理事会 4月 4日(土) 高齢者センター今朝白
- 総会 5月10日(日) 長岡リックホール・スタジオ

上記、総会にて、今年度の事業計画が決定しましたので、お知らせいたします。

例会

各会で講師先生から指導をしていただきます。 ※ 敬称略

- ・ 春の総会 5月 10日(日) 講師 亀貝 隆
- ・ 夏の例会 7月 4日(土) 講師 北村正彦
- ・ 秋の例会 9月 5日(土) 講師 金子健治

※ 夏・秋の例会には会員外にも参加案内をする。

会員外受講費：1,000円。

- ・ 冬の例会 2月 6日(土) 講師 本村睦幸



第42回 夏季リコーダー研修会

◆ 全くの初心者の方も安心してご参加ください。

- ・ 期 日 **8月11日(火)・12日(水)**
- ・ 会 場 魚沼市 小出郷文化会館
- ・ 後 援 新潟県教育委員会(申請中) 魚沼市教育委員会 他
- ・ 受講料 12,000円(会員は、10,000円) 1日のみは半額。
- ・ 宿 泊 **なし** ※希望者には幹旋(「やまきや旅館」)講師を囲む会有り 8/11 夕食時
- ・ 講 師 金子健治・北村正彦 ※ 敬称略
- ・ **申込締切 7月17日(金) 矢代田小学校 上村弥 0250-38-2233 F 24-2660**
※ 申込用紙は、県リコHPに掲載

第41回 新潟県リコーダーコンテスト

- ・ 期 日 11月28日(土)
- ・ 会 場 南魚沼市民会館大ホール
- ・ 後 援 新潟県教育委員会(申請中) 南魚沼市教育委員会 他
- ・ 審査員 … 金子健治・北村正彦・太田光子・県指導主事 ※ 敬称略
- ※ 案内・申込書は県リコHPに掲載

- ・ **申込締切 9月18日(金) 片貝小学校 永井民子**

会報

- ・ 年3回発行。各例会時
- ・ **会報はホームページ上で公開。**

- ・ 県リコHP <http://music.geocities.jp/nrshomepage/>
- ・ 会員他の皆様へ … 投稿記事をお寄せください。mitu3tu@gmail.com 宛てに>
日頃のリコーダー指導の悩み。こんな時にはこう指導する。
リコーダー部運営と指導。私とリコーダー等。

その他

- ・ 平成31年 第44回 全日本リコーダー教育研究大会が新潟県で開催される予定です。そのための準備を今年度から始めることになりました。
- ・ 平成27年度 役員一覧は、県リコHPをご覧ください。
- ・ **新会員の勧誘をお願いします。**

会の活動に期待してくれる方々のために、会の若返りと存続のために、みなさん一人一人が、自らの手で勧誘をお願いします。



全日本リコーダー教育研究会 理事会報告

全日本 小池副会長

- ・ 3月29日 開催の全日本コンテスト会場にて
- ・ **第37回 全日本コンテスト**は、平成28年3月27日(日) 江戸川区総合文化センター
- ・ **全日本リコーダー教育研究大会**
第40回記念研究大会が、11月13日(金)～14日(土)、東京にて開催予定。
内容は、授業公開、記念セレモニー、コンサートなど



リコーダーコンテストの思い出

(一般) 高橋 恵美子

新潟県リコーダーコンテストが第40回を迎えるということ、インターネットで偶然知り、この度一般の部(独奏)で参加させていただきました。40年の永きに渡り、続けてこられた教育研究会の皆様から心から感謝をお伝えしたいと思います。

私はかつて新潟市内の小学校6年時、県リコーダーコンテストに合奏で出場したことがありました。部活動が正式に組織され、リコーダー部創部(入部)から3年目のことです。

器楽の大会が数ある中で、リコーダーだけが集結する特別なコンテストでした。全員合奏をしたことは記憶に残っていますし、お楽しみでおみやげにいただいた五線譜のノートを今でも大切に持っています。これも当時の先生方の配慮だったと察するばかりです。

「中学校ではリコーダー部がない…。」吹奏楽部に所属していながらもどこか悶々としていた時、一人の音楽の先生が「独奏」という方法があることを教えてください

ました。さらに個人的にリコーダーが好きな3人がその先生の元集まり、部活動以外のわずかな時間を見つけて、重奏の練習をしたものです。

次の年、第7回 新潟県リコーダーコンテスト中学生独奏の部で、思いがけず、最優秀賞をいただきました。そして、第3回全日本リコーダーコンテストの出場資格を得ました。途方もなく遠い存在の全日本に出ることは考えられず、勇気もありませんでしたが、先生に背中を押され出場しました。

慣れない東京への特急電車の長旅疲れで当日息が続かなかった自分の演奏が今もカセットテープに残されています。武蔵野音楽大学ベートーベンホールではチェンバロの伴奏でリコーダーが奏でられる2回目のチャンスでした。コンテストの本会場でしか本物のチェンバロと合わせる機会がなかったからです。そして、この時初めてみたパイプオルガンの荘厳さに感動し、一般の独奏も聴き、すごいな…と思いました。伴奏者の同級生と共に私たち中学生は感化されて、東京から帰って来ました。

当時伴奏をしてくれた同級生は、音楽的素養の持ち主として逸材でした。後日談ですが、彼女は後に東京大学法学部に在学中、自室にチェンバロを購入して置くほどになり、「このコンテストで良い経験をさせてもらった。」と繰り返していました。音楽や教職の道に進まずとも、リコーダーコンテストがその後に影響を与えてくれたことに違いはありません。

私はこのステージを最後に人前でリコーダーを吹くことは全くありませんでした。小学校で誰もが吹くソプラノ笛は特別なことではないからです。そして数十年が過ぎました。

今回、第40回の県コンテストに出場する大きな動機になったものは、第3回全日本リコーダーコンテストのプログラムに指導者(責任者)として名前を連ねておられた新潟県の先生方が今尚、リコーダー教育研究会に会長、顧問、理事等として携わっておられるということが最近分かり、感銘を受けたからです。

2014年、ラフォーレジュルネ音楽祭に私はボランティアスタッフとして参加しましたが、ホームページの会報の中には今も変わらず、楽しく、生き生きとリコーダーを吹いておられる雲の上のような偉大な先生方の姿の御写真が有り、心を動かされました。

2014年11月29日。今回、長すぎるブランクを経て、初めて人前で吹くには大きすぎる大ホールの場に立てたこと自体、奇跡的でした。長い間、ケースの暗闇に閉ざされていた当時のままの木の楽器も、突然の出番にびっくりしたことでしょう。

表彰式の時には、急に子どもの頃にかえったような気持ちで受け取ることができました。

専門で一流の審査員の先生方に聴いていただき、あの鉛筆書きの自筆の審査票をいただいたことは特権でした。本当にありがとうございました。

プログラムをつくり、運営して下さった役員の皆様…
第1回からの歴史を掲載していただき、自分の在籍していた学校名も足跡の一つとして数えられていたことを嬉しく思いました。

会長及び顧問の先生方、コンクール立ち上げからのフロンティア精神と熱い思いがなければ、ここまで続けてこれなかったことでしょう。長く貢献されている先生方から、これまで計り知れない経験やご苦労話をお聞きしたい気持ちです。

私の場合、笛が少し吹けるようになったのも、今こうしてステージに立つことができたのも、義務教育の場による教えのみです。ですから、その時に出会った先生と小中学校教育に感謝しています。リコーダーを通して、1つの目標に向かって努力する過程の尊さと価値、楽しさを学びました。

現職の先生方へ

子どもの頃、教えてもらったことや先生のことは大人になっても心の中に生きています。大変な時代ですが、どうぞこれからも子ども達に伝え続けてください。

これまでコンテストを運営されてきた全関係者の皆様に感謝致します。今回40年間の重みを感じ、大変励まされ、この思いを伝えずにはいられませんでした。本当にありがとうございました。

《編集》

素晴らしい原稿をいただき小池会長とともに感動いたしました。ありがとうございます。研究会の今までの活動への取組を喜ぶと同時に、今後の活動の励みにさせていただけることを実感しています。

今後とも活動を見守っていただき、できれば活動に参加くださいますよう、お待ちしております。

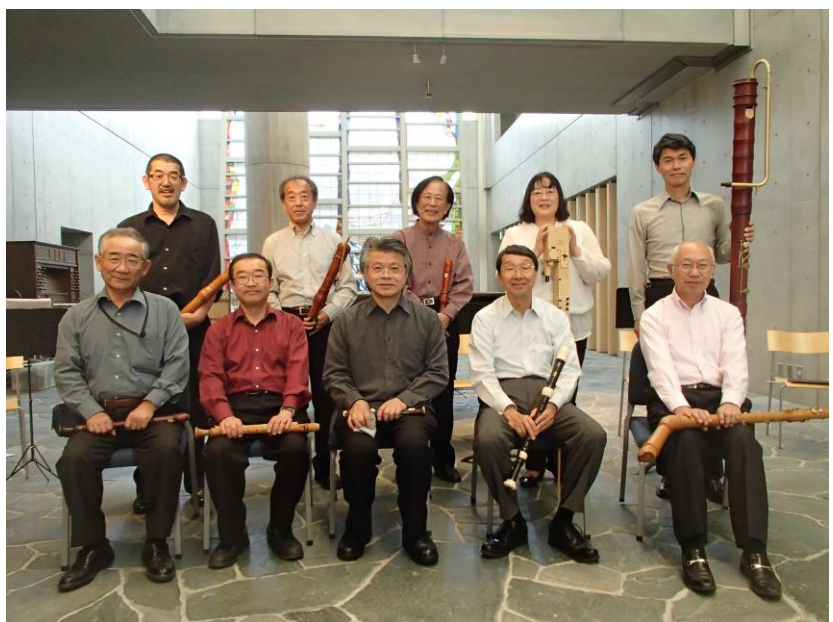
クラシックストリート、「長岡、音・おと・オトの街」公演に参加して

今回、10人の合奏で参加いたしました。9人県リコのメンバーでしたが、お1人神田成一さんから参加ご協力いただきました。

原 茂さん

編集… 今回、お誘いした時、まだ経験が浅いのでと辞退されたのに、「途中で止めてもいいです。」と、無理に来ていただきましたが…。

原さん…リコーダーを始めて3年目の初心者が入れる場所ではないと思いましたが、皆さんにはご迷惑と思いましたが、一旦始めたことです



から自分なりに出来るだけやり、最後までやらせてもらおうと思いました。
編集… ご都合を差し繰って練習に継続して参加していただきました。途中心境の変化はありましたでしょうか。

原さん…時間だけはありましたので、物理的に参加できる時は参加させてもらいました。初回の気持ちは最後まで変わりませんでした。

※ 編集→本番1か月前くらいだったと思いますが、16分音符の続く難しいスラーのフレーズを練習していただきまして、本番ではみごとに演奏していただきました。

編集…本番の演奏は、5月GWの貴重な連休2日間、5回もの本番演奏、新潟市・長岡市への移動等、大変なご負担をお掛けしましたが、原さんのお陰で成功裏に終えることができました。ありがとうございました。

しげかず 神田 成一さん

今年のゴールデンウィークは、リコーダー音楽三昧という、とても充実した貴重な経験をさせて頂きました。

5月5日は新潟クラシックストリートで2回、6日は長岡、音・おと・オトの街コンサートで3回の公演でした。

曲目はモーツァルト2曲(内1曲は偽作)とバロックの曲でしたが、いずれも大曲です。

このようなクラシックの編曲物をリコーダー合奏でやる場合、出来合いの楽譜がありません。つまり、メンバーの人数、使える楽器の種類、演奏者の技術などを考慮して、オーダーメイドの楽譜を用意しなければならないということです。そのような楽譜を作る人は、移調が出来ればそれで良しという訳にはいきません。リコーダーとその音楽の知識、そして音楽そのものの見識の深さが問われます。今回用意された楽譜と演奏は、その高いハードルを見事にクリアしていました。

しかしどんな演奏にも、これで完成ということはありません。もう少し時間があつたら、もっと良い演奏が出来たのにと、悔いも残っていることは嘘ではありません。

《補足：編集》

5月5日、「第5回 新潟クラシックストリート～ラ・フォール・ジュルネ 2015 関連イベント」。会場は、NTT 東日本ショールームひかりパーク新潟 と 音楽文化会館大ホール。今年のテーマは、「パシオン(パッション/情熱)」でした。

5月6日「長岡、音・おと・オトの街 公演」。会場は、朝日酒造エントランスホール、北越楽器駅前店 3階 ホール、蒲原ピアノクリニック。

演奏曲は、W.A.モーツァルト 交響曲第25番 kv.183 1楽章。J.B.リュリ 歌劇アルミードから「パッサカリア」。W.A.モーツァルト 弦楽5重奏曲 kv.46 1楽章(偽作) ※13管のセレナーデ編曲版

メンバー…皆川昌雄・森嘉雄・前田英也・小池純夫・亀貝隆・上村弥・榊原紀子・原茂・神田成一・樋熊三津男。

来年も参加の予定です。来年度のテーマは、「ネイチャー(自然)」です。参加者を募っています。下記編集まで連絡をお待ちしています。会員以外の方もお誘いください。

第36回 全日本リコーダーコンテスト 結果(新潟県出場者)

◆ 2015.3.29 江戸川文化会館にて開催

・十日町市立馬場小	スリー・リコーダー・ブルース	…銅
・魚沼市立堀之内小	ウエストカントリー組曲	…銀
・同	「村の休日」より	…銀
・十日町市立貝野小	「伝統的なアイルランドの民謡」より	…銀
・十日町市立東小	セヴァン川の西	…銀
・新発田市立紫雲寺中	セヴァン川の西(5重奏)	…銅
・同	ケルティック・ファンシーズ	…銀
・同	「世界の5つの都市」より	…銀
・佐渡市立真野中	モック・バロック	…銀
・同	「組曲ト長調」より	…銅
・同	「バラの香り」より	…銀
・佐渡市立南佐渡中学校	クライネ・アーベント・ムジーク	…銀
・同	「リコーダーのための組曲」より	…銀
・庭野宏樹	リチェルカータ第1番	…銀
・プルニエ・アンサンブル	デュオソナタ 第6番	…銀
・森山F	四つのインベンション	…銅

全日本コンテスト 審査講評から 北山 隆 先生

※舞台裏の仕事をしていながらでしたので、聴き洩らし・間違いはお許しください。言葉遣いは違う箇所があります。意味を生かしました。

<和音と表現>

- ・アンサンブルをやってハーモニーを美しく作ることによって、そのグループ独特なハーモニーの美しさ、音色が作られてくる。今日は、その美しさをいろいろな団体から聴かせていただいた。
- ・しかし、一生懸命ハーモニーづくりをしていると制約にかかってしまう。そこからはみ出ることができなくなる。ずっと美しい響きを保ったままいかなくてはならなくなる。そのような演奏は、ただ合わせるだけの魅力のない演奏に聞こえてしまう。(今日もそのような演奏がいくつか見受けられた。)
- ・和音の魅力は、ドミソからドファラに行く時に心が動く。その心の動きを感じて演奏に生かしていくようにする。もっと表現したらいい。どう表現したらいいかは、和音の運びがちゃんと教えてくれる。フレーズの起承転結を分かって、それをどのように表現したら良いか考えて表現するとうまく行く。

<テンポ・拍と表現>

- ・スタートしたらずっと同じテンポを保ったままの演奏、まるでベルトコンベア式の演奏は魅力に欠ける。
- ・面白いリズムの所は、それを表現することで魅力的な演奏につながられる。
- ・拍を数えることに一生懸命になると表現につながらない。
- ・指揮者に合わせて、みんながそろって同じように体を動かすことはおかしいのでは

- 各パートはそれぞれ違う旋律や役割りをしているから。
- ・ 音楽的な表現をした結果として体が動くことが大切。



<<編集後記>>

会員の声や日頃の実践の紹介を掲載したいと思っています。また、自由な投稿をお待ちしています。字数は限りません。

◆ こちらをお願いします。(*^。^*)

mitu3tu@gmail.com / 080-3322-1776 です。編集 [樋熊 三津男]

